

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 27 年 4 月 30 日 (2015.4.30)

【公開番号】特開 2012-227123 (P2012-227123A)
 【公開日】平成 24 年 11 月 15 日 (2012.11.15)
 【年通号数】公開・登録公報 2012-048
 【出願番号】特願 2012-67798 (P2012-67798)
 【国際特許分類】

H 0 1 M 4/04 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 M 4/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 3 月 16 日 (2015.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

箔状で帯状の電極材を電極の形状に切断する切断手段と、
 前記電極材を把持して前記切断手段による切断位置まで前記電極材を搬送する搬入手段と、

前記切断手段よりも前記電極材の搬送方向手前に配置されていて、前記切断手段による前記電極材の切断時に前記電極材を支える支持面を備えた支持手段と、を有し、

前記搬入手段は一对の把持手段を備え、

前記搬入手段が前記切断位置まで前記電極材を搬送する際、前記支持手段は前記一对の把持手段の間に位置し、

前記搬入手段は、前記電極材が前記切断手段および前記支持手段に接触しない位置で前記電極材を前記切断位置まで搬入することを特徴とする電池用電極製造装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 9】

前記搬入する段階においては、前記搬入手段が前記電極材を前記切断手段の切断位置まで搬入したときに、前記把持手段と前記切断手段とが干渉しない位置で前記把持手段により前記電極材を把持することを特徴とする請求項 8 記載の電池用電極製造方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記目的を達成するための本発明の電池用電極製造装置は、箔状で帯状の電極材を電極の形状に切断する切断手段と、電極材を把持して前記切断手段による切断位置まで電極材を搬送する搬入手段と、切断手段よりも前記電極材の搬送方向手前に配置されていて、切断手段による前記電極材の切断時に電極材を支える支持面を備えた支持手段と、を有する

。ここで搬入手段は一对の把持手段を備え、前記搬入手段が前記切断位置まで前記電極材を搬送する際、支持手段はこの一对の把持手段の間に位置する。そして搬入手段は、電極材が切断手段および支持手段に接触しない位置で電極材を切断位置まで搬入することを特徴とする。